

1. 企画運営委員会の構成（任期 2014（H26）.04～2017（H29）.03）

松村直人（委員長）、吉本 敦（統計数理研究所）、溝上展也（九州大）、
広嶋拓也（東大千葉演習林）、高橋正義（森林総研）

2. 今期の目標

- ・ 2015 年学会創設 50 周年記念行事の企画
- ・ 学会企画活動、企画関連記事の和文誌への掲載、記録を残す
- ・ 学生企画の推進（学生の交流を含め、学会活動の活性化）

3. 今期理事会報告 H27.03.02 理事会用資料

- ・ 12/6～7 森林計画・計測における統計理論の応用に係わる若手研究集会（統数研）
- ・ 3/7～8 Forest Resource Management and Mathematical Modeling
- FORMATH ROPPONGI 2015 - （総研大）
- ・ 3/29 春季シンポジウム（北大）
テーマ：森林計画・管理における空間情報技術活用の最前線～北海道からの報告～
- ・ 4月～6月（未定）林業経済、森林利用、計画学会合同企画
- ・ SFEM2015 8/31～9/4 Chiayi and Tainan（嘉義市・台南 Prof.Lin）
- ・ 夏期セミナー（学生セミナー）
- ・ 各支部会企画
- ・ Formath2016
- ・ 春季シンポ 2016

□学会創立 50 周年記念企画（実行委員会を企画運営委員を中心に組織）

○50 周年記念企画として、記念出版を考える

1) 和文誌の別冊で、review 記事の特集（学会員・学生向け、論文体裁）

- ・ 分野、キーワードを提示し、自薦・他薦で公募企画を 4 月早々に予定
- ・ 連休明けくらいまで公募、検討し、9 月末締切、査読、年内に原稿完成
年度内発行

2) 一般向けには、イラスト、写真などを入れて、記念出版

- ・ 編集委員会と著者とやりとりして、rewrite
- ・ イラストは業者に依頼（県内にパンフレット作成など、候補業者もあります）
- ・ 2016 年度に出版記念会を企画、学会から発行、配布

- ・一般にも計画学会を PR するため
- 3) 英文にも rewrite して、一般向けの方を英文出版
- ・こちらは PDF か、小部数を海外へ配布してもいいかも

○出版記念会として、2016 年度に記念シンポを企画

以上のスケジュールで、編集委員会を組織するなら、2回くらい集まる旅費を、和文誌出版は、現段階では通常の和文誌発行予算の中へ。